

# ミドリ

midori

No.131

公益財団法人  
かながわトラストみどり財団

WINTER  
2023



「守ってほしいこんな緑地」集計結果  
竹のこれから、  
竹工芸について学ぶ



絵/横山 寛多

# もくじ

- 01 連載 虫とりの日常④  
「セセリチョウがとびはじめて秋がはじまります」  
横山 寛多
- 02 インタビュー  
竹のこれからと竹工芸について学ぶ（後編）  
竹工芸作家 藤塚松星
- 04 神奈川県植物相調査  
県立生命の星・地球博物館 館長 田中 徳久
- 06 令和5年度 緑化運動・育樹運動コンクール
- 08 「守ってほしいこんな緑地」集計結果（前編）  
神奈川県
- 10 みどりのトラスト法人会員の紹介
- 11 自然観察&体験イベント/感想
- 12 小網代の森でなにを見つけよう
- 13 財団事業へ寄附キャンペーン  
「夏のいきもの手ぬぐい」

## 会員の皆さまへ

- ※転居先不明で返送されるケースが増えています。  
住所などの変更がありましたらご連絡ください。
- ※機関誌「ミドリ」は財団公式WEBサイト  
(<https://ktm.or.jp>)で読むことができます。  
発送停止をご希望の方は財団事務局までご連絡ください。

## 表紙の 写真



県民参加の森林づくりの間伐体験。  
安全に考慮しつつ、楽しいボランティア活動。  
(撮影:2023年9月24日(日)真鶴町岩での間伐)

## 杉葉色(すぎは色)

スギは寒くなる冬でも落葉しないことから常緑樹といわれ、常緑の葉は冬の間に茶褐色に変わり、春にまた戻ります。杉葉色は日本画などの岩絵具で鉱物を粉にしたもの。粒子の大きさによって色味が変わり、細くなるほど濃緑色から白く薄くなっていきます。

## かながわの未来に、今できること



公益財団法人

## かながわトラストみどり財団

1985年に発足以来、神奈川のみどりの保全と創造に関する様々な活動を展開しています。約1万人の会員の支援や募金寄附、ボランティアの皆様の協力を受け、今ある自然環境を次の世代に引き継いでいけるよう取り組んでいます。

☎ 045-412-2525

✉ midori@ktm.or.jp

✉ @kanagawa\_midori

f facebook.com/ktm.or.jp

📷 kanagawa\_trust

## 会員 & 寄附募金のお知らせ

トラスト会員を募集しています。どなたでも会員になれます。ご支援ください！

### 普通会員（トラスト会員）

かながわのみどりを守り育てる運動を支える会員です。

個人	年会費	
	大人	2,000円
	小学生500円、中・高校生1,000円	
家族	1家族	3,000円
法人/団体	1口	10,000円

### トラスト緑地保全支援会員 (オプション・任意加入)

普通会員の方に任意の加入で特定の緑地を支援していただく会員です。

個人/家族	年会費	
	個人/家族	3,000円
法人/団体	1口	10,000円

※5年分の会費を1回でお払いいただくと6年間会員になれます。

## 財団への会費や寄附は税額控除の対象になります。

### 現在の会員数

(2023年9月末現在)

	普通会員	緑地保全支援会員
個人会員	3,485人	469人
家族会員	5,659人	725人
法人・団体会員	338人	46人
特別・名誉会員	310人	
計	9,792人	1,240人

### 遺贈による寄附について

近年、遺言による寄附について関心が高まり、遺贈を受けた公益事業を推進しております。遺言の財産受取人として、公益財団法人かながわトラストみどり財団をご指定いただけます。

## 「かながわトラストみどり基金」への寄附状況

寄附累計額 (2023年9月末現在) 14億6,844万7,764円

寄附者名 (2023年7月～9月) ※敬称略、アイウエオ順

イオンビッグ株式会社、齋藤友佳理、マックスバリュ東海株式会社

## 「かながわトラストみどり財団」への寄附

財団へ寄附をいただきましたのでご紹介します。誠にありがとうございました。

寄附者名 (2023年7月～9月) ※敬称略、アイウエオ順

浅野 由美子、五十嵐 国夫、池谷 善博、板橋 奈津子、岩田 由美、宇田川 敏枝、大橋 作栄、角尾 友春、金井 のぶ子、株式会社ヤマシゲ、鎌田 美和、久保 幸子、小網代会館、小池 美千子、小松 終子、齋藤 友佳理、齋藤 吉之・和子、佐々木 恵子、佐藤 忠夫・道子・美紀、佐野 育子、重野 光喜、柴崎 えつ子、清水 紀彦、菅野 実、鈴木 和男、鈴木 健之、丹野 優、坪田 弥乃子、特定非営利活動法人よこはま里山研究所、中川 勝太郎、中園 良信、早戸 正広、平岡 大作、深井 三恵子、松田 江利子、松森 繁、森田 恭子、山田 路子、山村 宣夫、山本 勝久、有限会社小貫工務店、吉村 潔、渡部 明

※掲載の承諾をいただいた皆さまをご紹介させていただいております。



虫とりの日常

セリチョウがとびはじめて  
秋がはじまります。

アオドウガネの重さが夏のあわりを  
おしえてくれます。



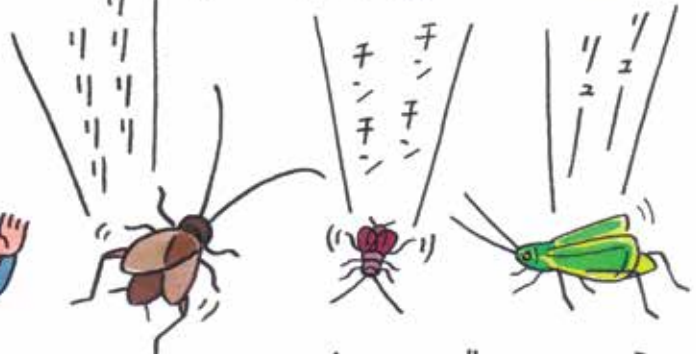
目が大きくな  
かゆい...



ホシホウジャクのみごとな  
ホバリング"はいいですね。



ツクツクホウシの鳴き声も10月には  
きこえなくなりますか...



夜の虫の鳴き声かにぎやかになると  
いよいよ秋本番ですね。



夏の夏のカタクリ

わあ...



あの時の  
カタクリです



カタクリが大きくなっていると  
いよいよ冬かくなるなあ、と  
思います。

絵と文/横山 寛多 (絵本作家・イラストレーター)

今年は暑い日が長かった。  
はやく涼しくならないかなあ、と思っていたが、そうなる  
と虫も少なくなるのでさみしさもある。  
春、すこしずつ虫が増えてくる時にわくわくしたのは  
正反対で、元気だった虫たちがだんだん減っていく秋は  
切ない。  
とはいえ夜の虫の声はやはりいいもので、虫の声が勢  
いを増すにつれて夜も長くなっていく。  
虫の声を聞いていると、登場人物の沈黙をひきかたて  
るように虫の声を描いた杉浦日向子さんの漫画を思い  
出す。

屋外の虫採りから遠く頃、世界でも最大規模の昆虫  
の標本市が東京で開催される。  
世界中の虫の標本が集まるから楽しくないわけがな  
い。屋内の虫採りというわけだが、この虫採り、採るたび  
にいちいちお金がかかるのがたまにきずで、見えている  
のにつかまえられることも多々ある。  
虫が苦手な友人を標本市に連れて行ったところ、あつ  
という間に虫の素晴らしさに気づき、熱心に標本を選ん  
で買っていた。  
虫に興味はあるけれど、苦手意識もある方には標本  
市をおすすめしたい。

## 大磯町の竹工芸 藤塚 松星さんが人間国宝に 竹のこれからと竹工芸について学ぶ（後編）

2023年10月に大磯町の竹工芸作家、藤塚松星（しょうせい）さんが重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定されました。前号（130号）前編に引き続き、竹工芸の魅力や藤塚さん独自の伝統と革新の作品づくりについて話を伺いました。

### ■天体観測の魅力

中学生の頃、たまたま学校に天体望遠鏡のセールスが来たんです。もともと星を見るのが好きだったんですが、これが昔はよくあった安価な塩ビ管で作られた望遠鏡で、親がこれならと買ってもらえたんです。

三脚も無くて、雨戸に固定して使うしろ物でしたが、夜な夜な熱心に月や土星を見て喜んでいただけです。

大人になっても天文書を読み漁ったり、初のボーナスで望遠鏡も買いました。

今でも、流星とか天体ショーがあれば自宅のベランダから空をのぞいています。

僕の仕事にも自ずと星の世界が入ってきているでしょうね。作品にも天体的な表現をとりいれたりしたりして、宇宙の広がりや、過去未来の時間軸など大きな世界感を学んでいます。

すると自分の人生もほんの一瞬であることを知る。だから、威張らず謙虚になれる。限りある命をいかに生き、次につながる命へバトンを渡していけるか。

### ■竹工芸との出会い

私の生まれの北海道では、竹林はなく竹トンボなどの玩具で遊んだ記憶もありません。

小1で大磯に転居し、高校を出て天体望遠鏡の会社のショールームで販売員をやっていたんです。その売り場に小学生の親子連れが来た時、高価で高性能なものより、その子が扱って十分楽しめる数万円のものが良いと薦めたわけです。

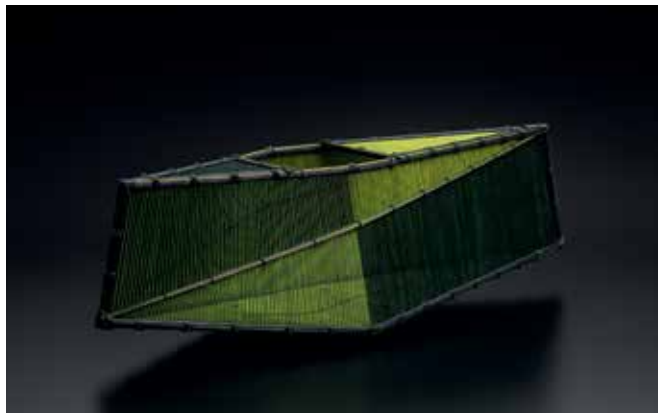
それを部長に見られていて、呼ばれて注意されたんです。「おまえ道楽でやっているんじゃない!」と。考えたら、会社は利潤を追求しているんですからそう言われるのは当然ですよ。その時、これじゃ趣味が趣味でなくなる。だから、道楽は道楽として、生活の為の仕事は違うことをやろうと思いついたのです。

しばらくしてショールームの同じ建物に竹製品を売る店があって、ふらっと見に行ったら、あるカゴに目が留まったんです。上からのぞいた時に、その編み始めが何処で、編み終わりが何処なのかが分からなかったんです。その時、「これなら教われれば出来るかな?」って思ってしまいました。そこが人生の分かれ道でしたね。



白錆竹花籠「うねり」

(撮影/増尾峰明)



彩変化花器「竹青への憧憬」

(撮影/増尾峰明)

とにかく教えてくれる人を探してみようと東京や埼玉を訪れ、最後に小田原の工芸指導所に行って相談すると、別府の訓練校と川崎の作家の2か所を紹介されました。老いた親の世話もあるし、遠い別府より近い川崎の方がいいな、と思って電話をして会いに行くことになったんです。高校卒業してサラリーマン生活4年目の23歳の時です。

恐る恐る門をたたいて、たくさんの竹材が積まれた仕事場で師匠に会ったんです。驚いたことに、初対面で開口一番「食えないからやめた方がいい。」と言うんです。やるなら焼き物(陶芸)の方がいい。知っている陶芸家を紹介するよと。

でも第一印象で、この先生はいい人だとわかった。ヒゲづらなんだけど、どこかさわりが良く、偉ぶらず、人間味のある人で、すぐに「この先生に教わりたいな!」って思ったんです。

## ■時代とともに変わる竹工芸

師匠は馬場松堂ばばしょうどうという日展(日本美術展覧会の略)の作家でした。作品づくりも手掛けつつ日用品も扱っていて、その頃は、次第に生活必需品としてのザルやカゴなどは全てプラスチックなどの工業製品に変わりつつあり、竹製品は衰退の一途でした。一方で、電気が普及し電気の笠(ランプシェード)が売れ始めた頃でした。

日中は作業場で電気の笠をひたすら作る。暗くなって仕事が終わると、近くに借りたアパートの一室に帰って竹を割ってヒゴにし、自分で編んで修行したわけです。割り方とか結び方などの基本的な工程は教わりましたが、他のことは師匠の仕事を目で見て盗み、それを夜に試しての繰り返しでした。

3年後に独立してからも、電気の笠の下受け仕事をしながら自分の作品制作も並行してやっていました。44歳の時に日本伝統工芸展で受賞したタイミングで量産品を止め、一品制作に移行しました。

## ■竹工芸の今とこれから

私が普段使っている竹材は晒竹(さらしだけ)といって

加工され乾燥したものを使っていますが、竹林から材を作り出すことが難しい時代です。

この関東で竹材を切り出し、晒竹にして商売しているところはあまり多くはないですね。放置された竹林では良材が採れないので、余計に竹林が荒れ放題になる。日本全体でもタケやササといった素材を山から運び出すだけでも苦勞しますし、需要も減ってきている。切り出す側も高齢化しているし、今の時代に若手が参入し、手間をかけて加工し、長い時間をかけて乾燥させていくような一連の作業で、果たして生計を立ていけるか難しいですね。また道具類を製作する人も少なくなって、道具も素材も作り手もみんな減っていくという悪循環が生まれています。

ただそうだからと言って、竹工芸の将来を考えたらずこまねいて何もしない訳にはゆきません。

私は、多少皆さんより竹のことについては知っているのですが、竹の魅力や扱い方をお伝えできる機会があれば協力させてもらいます。

切り出してすぐの青竹なら、割ってヒゴをとり、ザルやカゴ、ランプシェードだって作れるし、皆さんと一緒に竹細工のワークショップなども開催できると思います。

また最近では竹のバックやアクセサリなどがファッションブランドで扱われたり、アート作品として世界的にも注目されています。

日本には平安時代から続く竹取物語に代表されるような竹文化が根強く定着していると思います。今、実用品から美術工芸品まで、その造形素材としての竹の可能性を再認識していただければ嬉しいです。

(取材:財団 壹崎)



プロフィール

ふじつか しょうせい  
藤塚 松星

重要無形文化財「竹工芸」保持者  
日本工芸会正会員

写真は令和5年11月大磯町でのワークショップで自ら作業工程を行う一場面



# 神奈川県植物相調査



県立生命の星・地球博物館 館長 田中 徳久

## はじめに

神奈川県は、もっともよくその植物相(ある地域に分布している植物の種類全体の全体像)が調べられている都道府県だと言われます。県全体の植物誌・植物目録としては、『神奈川県植物目録』(松野編, 1933)、『神奈川県植物誌』(神奈川県博物館協会編, 1958)、『神奈川県植物目録』(宮代, 1958)、『神奈川県植物誌1988』(神奈川県植物誌調査会編, 1988)、『神奈川県植物誌2001』(神奈川県植物誌調査会編, 2001)、『神奈川県植物誌 2018』(神奈川県植物調査会編, 2018)の6編が刊行されているのです。

## 新『神奈川県植物誌』の特徴

この6編の植物目録・植物誌のうち、特に、神奈川県植物誌調査会による『神奈川県植物誌1988・2001・2018』(新『神奈川県植物誌』: 図1)は、これまでの地方植物誌と一線を画すものとして高い評価を得ています。神奈川県植物誌調査会では1979年以来、継続して野外での植物相調査を実施して標本を採集し、神奈川県内各所の博物館・資料館に証拠標本として収蔵して貰っています。これらの標本は、神奈川県内を111個(『神奈川県植物誌1988』では108個)の調査区に分け、調査区単位で生育する植物を採集したもので、新『神奈川県植物誌』にはこれらの植物標本



図1. 神奈川県植物誌調査会による新『神奈川県植物誌』3編。

に基づく分布図が掲載されています。また、新『神奈川県植物誌』には各植物の解説と分布図に加え、見分けに必要な植物画(図)が掲載されているのも大きな特徴です。

新『神奈川県植物誌』は、このような特徴を持ち高い評価を得ていますが、神奈川県がもっともよくその植物相が調べられていると言われるようになった基礎には大きく2つの理由があると考えられます。

## 外国人の神奈川県での活躍

その一つは2023年度前半のNHKの朝の連続テレビ小説「らんまん」でも名前が登場し、先号でも少し触れた外国人たちの神奈川県での活躍です(先号ではサヴェチェとマキシモヴィッチにのみ触れました)。

スウェーデンのツェンベリーは、滞在した長崎だけでなく、江戸参府の途上の各地や箱根の山中で多くの植物を採集しています。ツェンベリーが新種として記載したクロモジ(図2)やオノマンネングサは、箱根で採集された標本が基準標本(学名の基礎となる標本)とされています。ペリー艦隊の随員も多くの植物を本国に持ち帰りましたし、オランダのシーボルト(本来はドイツ人)は多くの日本人の学者を知りとし、植物標本だけでなく、生きた植物や哺乳類、鳥類、魚類の標本などもオランダに持ち帰りました。フランスのサヴェチェは横須賀に開設された官営製鉄所に医官として着任し、横須賀を中心に県内各地で植物を採集し、本国フランス



図2. ツェンベリーが採集したクロモジの基準標本(UPS8796 ウプサラ大学)。



図3. サヴェチェェが採集した標本が収蔵されているフランスの国立自然史博物館の植物標本庫(パリ)。

のパリにいるフランシエに送りました。その標本はパリの国立自然史博物館に保管され(図3)、フランシエはサヴェチェェと共著で『日本植物目録』を著しました。フランシエとサヴェチェェは、多くの新種を記載し、その中には、神奈川県を基準産地とする植物が多く含まれます。ロシアのマキシモヴィッチは、開港した函館で助手に須川長之助を雇い、九州へ向かう途上、横浜に滞在しました。「らんまん」の主人公のモデルとなった牧野富太郎が、東京大学の出入りを差し止められた際に頼ろうとした研究者です。マキシモヴィッチが採集した標本は、サンクトペテルブルグのコマロフ植物研究所に保管されています(図4)。

なおツェンベリーより古い時代に、ケンペルも日本を訪れ、植物を採集しており、箱根でハコシネシダを採集したことはよく知られています。ただケンペルの時代は近代的な植物分類学の誕生以前であったため、植物学的な業績はあまり評価されていないかもしれません。とは言え、ヤマツツジやノハナショウブ、カラマツなどの学名に、その名が残されています。

## 日本人研究者、愛好家の活躍

もう一つは、牧野をはじめとする多くの植物研究者や愛好家が、植物採集に訪れたことです。神奈川県は首都東京の近くに位置する上、丹沢や箱根などで代表される豊かな自然を有しており、その最初の成果が、先号でも触れた横浜植物会の発起人の一人でもあった松野重太郎が編纂した『神奈川県植物目録』であると言えます。牧野本人だけでなく、その指導を受けた横浜植物会の会員もたくさんの植物を記録、採集し、神奈川県内の植物相の解明に力を尽くしました。また、「らんまん」でも描かれていたように、調査だけでなく、植物の新種の記載、発表も、外国人の手から牧野を代表とする日本人の手に移りました。



図4. マキシモヴィッチが採集した標本が収蔵されているロシアのコマロフ植物研究所(サンクトペテルブルグ)。

## 神奈川県で記録された植物の数の変遷

外国人研究者や牧野ほかの先人たちによる蓄積、神奈川県植物誌調査会の尽力により、もっともよくその植物相が把握されている神奈川県ですが、どれくらいの植物が記録されているのでしょうか。その数は、『神奈川県植物誌2018』によると、在来植物2,199種類、帰化植物1,036種類の合わせて3,235種類になります(雑種を除く)。宮代(1958)を除く5編の植物目録・植物誌に記載されている植物の数を図5に示しました。在来植物は『神植誌88』まで増えていますが、神奈川県植物誌調査会による調査が進み、県内の在来植物については、おおよそ把握できたことが分かります。一方、帰化植物の数はずっと増え続けていますが、この傾向がいつまで続くか気にかかるところです。なお、このグラフの数には今は絶滅した植物や、どこかで一度だけ記録、採集された帰化植物も含まれますので、今現在、神奈川県でみられる植物の数という意味では少し注意が必要です。

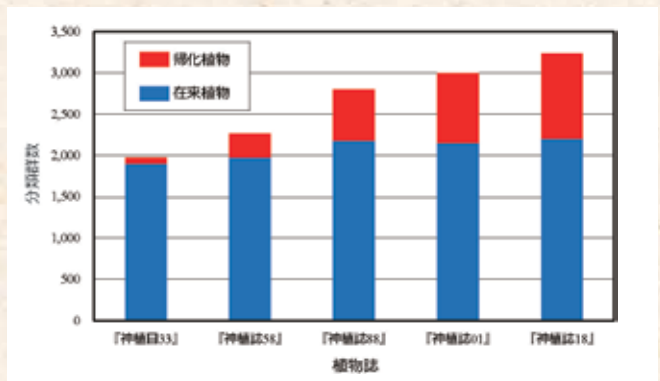


図5. 宮代(1958)を除く5編の植物目録・植物誌に記載されている植物の数の変遷。



たなかのりひさ  
**田中徳久**

県立生命の星・地球博物館 館長。専門は植物生態学。  
写真はロシアのコマロフ植物研究所でのマキシモヴィッチの標本調査の一コマ。

プロフィール



# 令和5年度 緑化運動・育樹運動コンクール

「緑化運動・育樹運動コンクール」は、緑の募金によって行われています

当財団が主催する緑化運動・育樹運動コンクールは森林の保護や保育、植樹などの環境緑化の推進を図るために、昭和37年から行なわれており、毎年神奈川県内の小・中・高等学校（標語・ポスター原画）及び一般の神奈川県民の皆様（標語）へ応募を呼びかけて実施しています。

この夏、696名の方が樹木を増やそう・大切にしよう・守り育てていこうとする意欲の高揚を「標語」や「ポスター原画」

に表現していただきました。

その中でコンクールの趣旨に合った作品を審査・選出し、表彰しています。入賞作品は今後、当財団の緑化活動の普及啓発等に活用させていただきます。

たくさんのご応募ありがとうございました。

なお、上位入賞作品については全国のコンクールに出品されます。

## ポスター原画 コンクール

最優秀賞 小学校の部



### 「未来の緑」

海老名市立上星小学校5年  
ふかや  
深谷 あかねさん  
緑がふえてほしいから

最優秀賞 中学校の部



### 「未来に繋がる1つの緑」

伊勢原市立山王中学校2年  
いとう あやの  
伊藤 文乃さん  
誰かが植えた1つの芽が将来の緑化に繋がっていくことを示すために描きました。

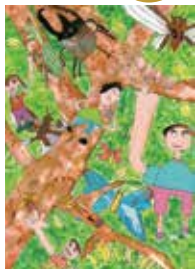
最優秀賞 高等学校の部



### 「守人」

神奈川県立小田原城北工業高等学校3年  
おおつほ ひまわり  
大坪 向日葵さん  
リスが冬前に木の実を埋めて、掘り出されなかった木の实から芽が出て、森が育っていく、というのを知り人間も見ならってほしいと思ったことがキッカケでこの絵を描きました。

金賞 小学校の部



「ぼくの木、みんなの木」  
伊勢原市立伊勢原小学校1年  
しば おうき  
斯波 旺希さん



### 「木漏れ日の木」

伊勢原市立大田小学校6年  
おおつか まゆ  
大塚 麻田さん

金賞 中学校の部



「生きる力」  
大磯町立国府中学校2年  
うだがわ ゆめ  
宇田川 夢さん



### 「未来」

大磯町立国府中学校3年  
ふなもと あかね  
船本 朱音さん

金賞 高等学校の部



### 「森の歩み」

神奈川県立神奈川工業高等学校2年  
かとう  
加藤 さあらさん



銀賞 小学校の部



「森林のゆたかさを未来へ」  
海老名市立上星小学校5年  
いちかわ あかり  
市川 明里さん



「大きくなってほしいな、わたしの木」  
伊勢原市立伊勢原小学校3年  
しほ  
斯波 ころろさん

銀賞 中学校の部



「植林をして問題解決」  
三浦市立三崎中学校1年  
せきもと ひより  
関本 陽依さん



「守りたい道」  
大磯町立国府中学校2年  
おおしろ はるひと  
大城 春人さん

銀賞 高等学校の部



「樹に集う」  
神奈川県立神奈川工業高等学校2年  
にいほら ゆりか  
新原 百合香さん

銅賞【小学校の部】伊勢原市立大山小学校2年・松並裕太さん／伊勢原市立比々多小学校1年・天野朝陽さん／伊勢原市立比々多小学校4年・石塚大賀さん【中学校の部】茅ヶ崎市立第一中学校1年・宇野玉乃さん／伊勢原市立山王中学校2年・坪良々花さん／大磯町立国府中学校1年・古正菜穂さん【高等学校の部】神奈川県立神奈川工業高等学校2年・佐々倉由衣さん

標語コンクール

最優秀賞 小学校の部

「小さな芽  
ゆたかな未来の  
第一歩」  
大和市立林間小学校4年  
さかくち さや  
坂口 紗彩さん

最優秀賞 中学校の部

「この星を  
緑と希望で  
包みこむ」  
川崎市立住吉中学校2年  
かねひら ゆうと  
兼平 侑門さん

最優秀賞 一般の部

「樹を守り  
樹に守られて  
我ら生き」  
横浜市  
あきお みち  
秋尾 道さん

金賞 小学校の部

「育てよう 小さなたねから 緑の未来」  
秦野市立南小学校3年 諸田 真奈さん  
「育てよう 未来につなぐ 緑の芽」  
箱根町立仙石原小学校5年 勝保 茉音さん

金賞 中学校の部

「緑化とは 我らの未来 つくること」  
川崎市立住吉中学校2年 古川 暢彦さん  
「小さな芽 未来に繋ごう森林貯金」  
厚木市立依知中学校3年 藤野 由愛さん

金賞 一般の部

「育てよう 明日の緑 繋がる未来」  
横浜市 宇田 和也さん  
「種まきで 未来へ緑の 橋かける」  
厚木市 澤田 麻衣子さん  
「緑の芽 年輪重ねて 未来の大樹」  
横浜市 白岩 克彦さん

銀賞

【小学校の部】「木を植えて つなごう緑と 笑顔の輪」大和市立林間小学校6年・野口優莉さん／「ぐんぐんそだて だいじなみどり」綾瀬市立北の台小学校2年・佐藤ひかりさん／  
【中学校の部】「一歩ずつ みどりはぐくむ 笑顔とともに」川崎市立住吉中学校2年・石川楓華さん／「木を植える その連続が 未来へと」川崎市立住吉中学校2年・鈴木結人さん／  
【一般の部】「うっそうたる 森も一つの 苗木から」横浜市・小倉希裕さん／「子や孫の未来へ贈ろう 緑の遺産」厚木市・熊坂武雄さん／「植林は 地球の未来を育む一歩」横浜市・立花幸子さん

銅賞【小学校の部】茅ヶ崎市立室田小学校2年・小島優香さん／海老名市立社家小学校5年・浅岡駿さん【中学校の部】川崎市立住吉中学校2年・志村千紗さん／厚木市立依知中学校2年・村田妃南さん【一般の部】横浜市・藍原重陽さん／厚木市・加藤淑子さん／横浜市・千葉周平さん／横須賀市・浜口直樹さん

令和5年度 緑化運動・育樹運動 標語・ポスター原画コンクール受賞作品展示会

- 神奈川県庁新庁舎1階ホール（横浜市中区元浜町1丁目3） 2024年1/5(金)～1/11(木) ※土日祝日閉庁
- 神奈川県自然環境保全センター2階ブナの森ギャラリー（厚木市七沢657） 2024年1/5(金)～3/27(水) ※月曜日休館

## 「守ってほしいこんな緑地」 集計結果

〈前編〉

神奈川県と公益財団法人かながわトラストみどり財団は、令和4年4月に、トラスト緑地アンケート『守ってほしいこんな緑地』を実施しました。皆様のご協力に厚くお礼申し上げます。

今回の前編ではアンケート実施の背景や結果を、次号の後編では見えてきた課題や緑地保全のこれからについてお伝えしたいと思います。

神奈川県環境農政局緑政部自然環境保全課

### 1 アンケートの概要

- ・期間…令和4年3月～4月30日
- ・アンケート項目…県内の保全してほしい緑地(概ね3000㎡以上)とその理由、その緑地の情報
- ・方式…『ミドリ』同封のアンケート用紙でFAX、電子メール等で匿名回答

### 2 実施した理由

このアンケートは、以下のような理由で実施しました。

#### (理由1) 小規模化する緑地を把握したい

トラスト基金創設時に比べて、人口増加が緩やかになった神奈川県ですが、緑地の減少は続いています。土地需要の強弱に関わらず緑地所有者の相続に伴う売却は常に生じることや、新しい道路や処分場などの

事業用地は緑地に求められがちであるなど、様々な要因で、緑地は少しずつ分断され小規模化しています

そこで、平成30年、トラスト緑地の選定基準を「1ha以上」から「3000㎡以上」に引き下げ、小規模緑地の保全を図ることとしましたが、小規模緑地は、その規模ゆえに自治体が保全ニーズを把握しづらいという難しさがあります。これを把握したいというのが一つ目の理由です。

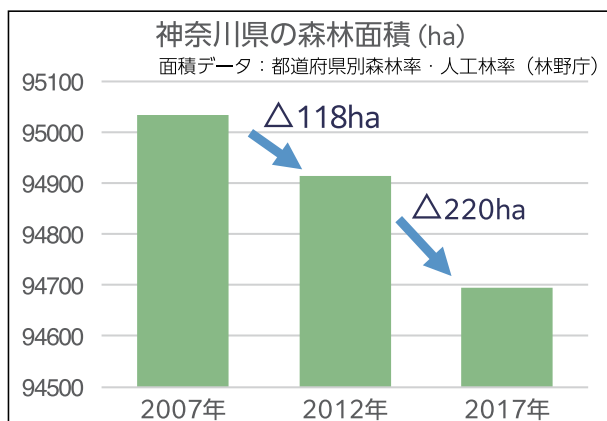
#### (理由2) 緑地の生のニーズを知りたい

県が保全している緑地の多くは斜面緑地です。斜面緑地は緑豊かな景観を生み出す反面、斜面に近接してお住まいの方には、倒木や土砂流出、落葉などで多くのご迷惑をおかけする存在でもあります。

本県でも「あの緑地の木は危険だ」というご指摘はいただけるのですが、「あの緑地は素晴らしいね」という声に接することはありません。どのような緑地がどのような魅力で求められているのか、生の声を知りたかったというのが二つ目の理由です。

#### (理由3) トラスト運動の原点に立ち返りたい

守りたい緑地を会員がお金を出し合って保全できるのがトラスト運動のいいところですが、会員がそのプロセスに関わる機会はあまりないのではないのでしょうか。平成30年に「かながわのみどりや森林におけるパワースポット・癒やしスポット」を会員から募るといったヒット企画がありましたが、これをヒントに「会員の声で保全に繋げる」「そのために会員になる」というトラスト運動の原型を見出したいと考えたのが三つ目の理由です。

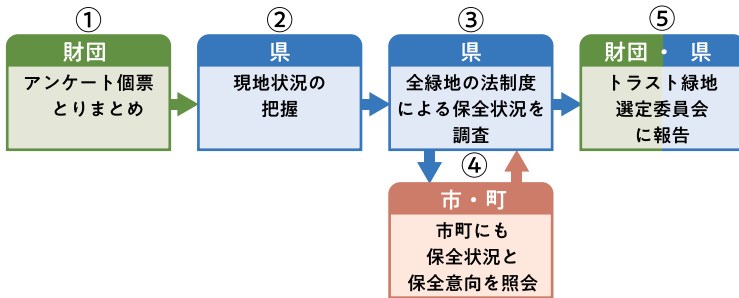




市街地の緑地の小規模化の例  
(神奈川県内)  
(出典/国土地理院 地図・空  
撮写真閲覧サービス)

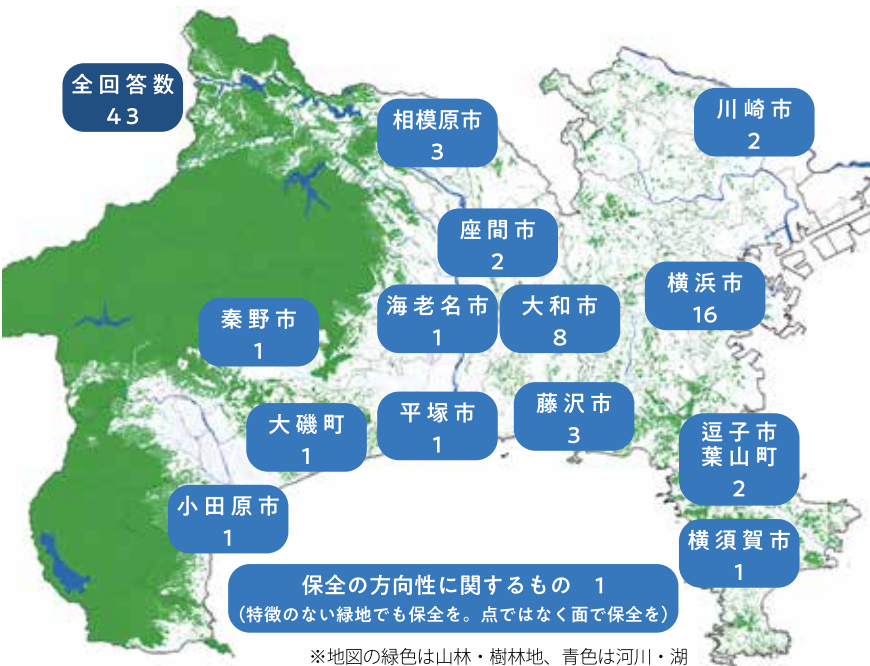
### 3 アンケート結果の活用の流れ

次の順序で分析を進めました。



### 4 市町別の内訳

回答数は43件でした。詳細な地点については今後の保全に影響するため公表できませんが、市町別に見ると図のとおりです。県東部の緑地を求める声が多い結果となりました。



※地図の緑色は山林・樹林地、青色は河川・湖

### 5 類型別の結果

次に、いくつかの類型に分けてみます。前章と同様、個別の場所をお示しできませんが、この分類は多くの緑地に当てはまると思いますので、お近くの風景を思い浮かべながら読んでみてください。

#### A 市街地型 7件 川崎市 大和市

市街地でありながら、開発されずに残った樹林地や

農地が希少な自然として親しまれているケースです。神社境内であったり、地形・日照条件が厳しいことが幸いして樹林地として残ったケースも見受けられました。街の原風景が象徴的に残され、殺風景になりがちな街並みの中で、その街に格調を与える存在になっていました。

#### B 郊外型 4件 逗子市 葉山町 大磯町 小田原市

市街化調整区域にある1000ha級の丘陵が、奥行きと多様性のある生態系を残し、市民の協力のもとでハイキングコースや棚田風景などとして親しまれています。近郊緑地保全区域や自然環境保全地域といった法規制がかかっている区域は良好に保全されていますが、それ以外の区域では大規模に開発が行われている所もありました。

#### C 水辺 2件 相模原市 横須賀市

河川敷や自然海岸が希少な水辺の生態系として機能しています。これらは公有地である場合が多いですが、海岸線に接した民地が開発されて自然海岸が失われるケースが寄せられました。

#### D 他用途の施設の樹林地 3件 横浜市 大和市 平塚市

公共施設やゴルフ場、海岸の施設の中の植栽や緑地が、都市化の進んだ市街地の希少なみどりとして機能しているものです。老朽化した施設の再整備工事に伴って、ボリュームのある樹林が失われることを心配するケースが寄せられました。

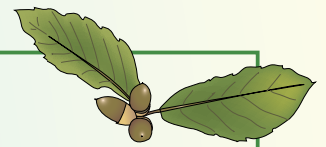
#### E 一部保全型 26件 横浜市 相模原市 藤沢市 大和市 座間市 海老名市 秦野市

大きな緑地が行政によって一部保全されている型です。保全された部分は、市民の森、特別緑地保全地区、トラスト緑地、都市公園、河川区域、農業振興地域など様々ですが、緑地は保全区域外にも連続しており、これらが失われることを心配する声が寄せられました。

後編では、アンケートで見えてきた課題と、緑地保全のこれらについて見ていきたいと思います。

(前編おわり)

# みどりのトラスト法人会員の紹介



## 10口以上

(株)エルテックス 京浜急行電鉄(株) (株)リバティーエステート  
 (公財)神奈川県公園協会 (医社)桜井眼科医院 (株)リビエラリゾート  
 川本工業(株) 生活協同組合ユーコープ かながわ県本部

## 5口以上

(株)アド・カジエンス (公社)神奈川県宅地建物取引業協会 神奈川県住宅供給公社 エンドウメタル工業(株)

## 1口以上

(株)アイエンス、(株)アイキヤル、(株)アイティティキャンノン、青葉学院、(株)アスコット、(株)アストリア、(公財)厚木市環境みどり公社、アットホーム(株)、(株)阿部興業、(有)アマナ・クレスト、有山エステート(有)、(株)安藤建設、生駒植木(株)、泉の交通(株)、(株)市川屋、(有)植久造園、上野トランステック(株)、SMBC日興証券(株)、(株)エス・シーリビング、エヌ・ケイ・テクノ(株)、(株)NTT東日本一南関東神奈川事業部、(株)MxEコンサルティング、(株)大川印刷、(株)大智、(株)大森商店、(株)オールスタッフ、(株)岡崎電気工事、(株)おかだハウジング、(株)オガワ、(一社)小田原医師会、小田原市森林組合、NPO法人小田原山盛の会、(有)小貫工務店、貝殻浜生物調査隊、NPO法人神奈川県歩け歩け協会、神奈川環境開発(株)、(公社)神奈川県環境保全協議会、(公社)神奈川県観光協会、(公財)神奈川県結核予防会、(一社)神奈川県建設業協会、神奈川県厚生農業協同組合連合会、神奈川県山林種苗協同組合、(公社)神奈川県歯科医師会、(一社)神奈川県自動車会議所、神奈川県種苗協同組合、(一財)神奈川県私立中学高等学校協会、神奈川県信用農業協同組合連合会、神奈川県森林協会、神奈川県森林組合連合会、神奈川県葬祭業協同組合、(一財)神奈川県団地住宅福祉協会、神奈川県内広域水道企業団、神奈川県農業協同組合中央会、神奈川県民共済生活協同組合、神奈川県木材業協同組合連合会、(公社)神奈川県猟友会、神奈川県労働福祉センター、NPO法人かながわ森林インストラクターの会、(公社)かながわデザイン機構、鎌倉広町の森市民の会、(株)川久保組、川崎信用金庫 業務部、(有)川島園、(一社)神奈川県造園業協会、(株)桐ヶ谷工業所、(特非)霧多布湿原ナショナルトラスト、工藤建設(株)、久里浜中央自動車学校、(株)グリプロ、(株)グリラエス、(株)京急百貨店、(株)研進、NPO法人小網代野外活動調整会議、紘永工業(株)、構造品質保証研究所(株)、(株)光電社、(株)小島ラベル印刷、(株)五條建設、(株)小俣組、(宗)西有寺、(株)サカエテック、(株)嵯峨造園土木、(有)相模造園土木、(公財)相模原市まち・みどり公社、相模原市みどりの少年団、さがみはら津久井森林組合、(公財)相模湾水産振興事業団、櫻井造園土木(株)、桜ヶ丘・水辺のある森再生プロジェクト、The Blue(株)、三協ハウジング(株)、(株)三進塗装、山陽印刷(株)、三洋測量設計(株)、ジェイ・アール・シー特機(株)、(株)四季の自然舎、SEIKS Corporation、(株)シゲン、シティアクセス(株)、(株)シティアクセス相模、(有)シバタ工業、(株)沢沢造園、(株)ジャストアメニティ、樹木環境ネットワーク協会、ジョイテック(株)、(有)正栄製作所、(有)湘南建築工房一級建築士事務所、湘南造園(株)、(有)湘南仲介センター、(株)杉浦商事、杉崎運輸(株)、すゞきモーター(株)、(一社)住まい選びコンシェルジュ協会、生活協同組合パルシステム、(有)青史堂印刷、生長の家神奈川県教化部、(株)セイロモーターズ、(株)ゼネラルダイナミックス、NPO法人全国森林インストラクター神奈川会、(一社)全国森の循環推進協議会、(有)セントラル・ホームズ、相鉄ホールディングス(株)、相洋産業(株)、(株)染谷商店、(株)ソリッドプラス、第一三共プロファーマ(株)平塚工場、(有)泰成緑地建設、大成建設(株)、ガイドードリンコ(株)横浜支店、大和証券(株)横浜支店、高砂熱学工業(株)横浜支店、(株)タズミ、(株)グッドウェイ、谷本緑化(株)、(有)田畑興業、千代田化工建設(株)、行政書士土田経営事務所、(有)椿建設、ツルミ印刷(株)、NPO法人鶴見川流域ネットワーク、ディーエムソリューションズ(株)、(株)テクノ・トランス、(有)東海エフ・ティ・シー、東京応化工業(株)、東京ガスライフバル飯田(株)、(株)東洋不動産、(株)ときそう、徳増不動産(株)、(株)トシダ、土志田建設(株)、(株)トヤマ、(有)ナカハラ、(株)日建、(株)日建産業、(株)ニデア、(株)日本ウォーターテックス、(一社)日本樹木医会神奈川県支部、庭乃持田園(有)、野崎印刷紙器(株)、箱根温泉供給(株)、箱根ガラスの森美術館、箱根観光船(株)、箱根湖畔開発(株)、(有)箱根清掃公社、橋本電気工事(株)、秦野瓦斯(株)、秦野みどりの少年団、(学)初音丘学園、(株)濱田園、万里設備(株)、(株)ピーシーエヌ 相模原支店、ビジョナーズ(株)、ひだち屋不動産(株)、平塚市漁業協同組合、(株)弘充建設、福島製鋼(株)相模工場、(株)福田商店、藤沢市企業等環境緑化推進協議会、藤田精密(株)、(有)藤屋、(一社)不動産価値創造支援機構、(株)ぶどうの木、(株)PLANETS、(資)文章堂印刷所、文明堂印刷(株)、(有)ベストサービス、(株)ベストワン、ホームインテリジェンス(株)、(公財)ポーラ美術振興財団、(株)ホクシン、(株)星建設、(有)松中一級建築士事務所、(株)マブチ、(株)丸孝産業、(株)マルビ、(一社)三浦市観光協会、三浦ライオンズクラブ、(株)三木組、(株)水落建設、三菱ケミカル(株)平塚事業所、南足柄市森林組合、ミネ工業(株)、三橋ビル(有)、(公財)宮ヶ瀬ダム周辺振興財団、ムラタ計測器サービス(株)、明治安田生命保険相互会社 神奈川本部、明誠建設(株)、メルビック電工(株)、もくもくはうす(有)、野菜のHikarie、安武測量設計(株)、(株)ヤマシゲ、(株)山善、(公財)大和市スポーツ・よか・みどり財団、山羽工業(株)、(株)山星船具店、(株)裕興、(医社)有仁会、(株)有隣堂、(一社)横須賀市医師会、横浜エフエム放送(株)、横浜建設(株)、横浜港南台ロータリークラブ、横浜新都市センター(株)、横浜信用金庫 ソリューション支援部、横浜総合建設(株)、横浜戸塚ライオンズクラブ、(学)横浜平成学園 平戸幼稚園・ひらと保育園、(株)横浜ホームビルド、(株)ヨコレイ、(株)ラ・ルース、緑栄造園土木(株)、緑園都市コミュニティ協会、(株)ルビー、連合神奈川、和光産業(株)、和光大学 企画室、(株)渡辺組、(有)綿屋



※表記統一のため、「株式会社」等は略称を用いています。  
 ※掲載は、五十音順です。

# かながわトラストみどり財団 自然観察 & 体験イベント

2023年度 2023.12 ~ 2024.3/31 イベント詳細及び申込方法は WEB サイトのイベントページにてご確認ください。

**体験会** シイタケほだ木のお土産つき  
**各20人** 受付 12/1 ~ 12/31 **ナラ枯れ対策処理体験会**  
 2024年 2月3日(土)・7日(日) 【コース】桜ヶ丘駅→久田緑地→桜ヶ丘駅  
 9:30 ~ 12:30 ※軍手、持ち帰り用大きな袋持参

**自然観察会** 曽我丘陵で梅林からの眺望を楽しむ  
**30人** 受付 12/1 ~ 12/31 【講師】NPO法人全国森林インストラクター 神奈川会  
 2024年 2月15日(日) 【コース】下曽我駅→中河原梅林→宗我神社→城前寺→別所梅林(昼食)→法蓮寺→原梅林→梅の里センター→下曽我駅 ※昼食(敷物)持参  
 9:30 ~ 15:00

**自然観察会** 河村城址と洒水の滝を巡る  
**20人** 受付2024年1/1 ~ 1/31 【講師】森林セラピーガイド/猪坂華英氏  
 2024年 3月22日(金) 【コース】山北駅→河村城址→展望所→洒水の滝→鉄道公園→山北駅  
 9:30 ~ 13:00

**自然観察会** 早春の茅ヶ崎サザンビーチ海岸と椿庭園を楽しむ  
**30人** 受付2024年1/1 ~ 1/31 【講師】江の島・藤沢ガイドクラブ  
 2024年 3月8日(金) 【コース】茅ヶ崎駅→高砂緑地→茅ヶ崎館前→サザンビーチ海岸→茅ヶ崎公園(昼食)→氷室椿園→ヘッドランドビーチ→サイクリング道路→汐見台公園→辻堂海浜公園(一旦解散)辻堂駅もしくは藤沢駅行きバス停を案内。※荒天によりコースの変更もありますことをご了承ください。  
 9:30 ~ 14:30 雨天中止  
 予備日 3月15日(金)

# 森へ行こう！ 活動に参加しよう！ 森林ボランティア

**南区下溝** 相模原市 県立相模原公園  
**100人(先着順)** 受付 11/1 ~ 【集合】本厚木駅東口 9:00  
 県立相模原公園管理事務所前 9:30 ※専用バスで移動  
**除伐** 2024年 1月20日(土) ※自家用車駐車場があります  
 予備日:1/21日

**子易** 伊勢原市 大山地区  
**60人(先着順)** 受付 11/1 ~ 【集合】伊勢原駅北口 9:00  
**除伐** 2024年 1月27日(土) ※専用バスで移動  
 予備日:1/28日 ※自家用車駐車場はありません

**麻生区上麻生** 川崎市 山口白山公園  
**120人(先着順)** 受付 12/1 ~ 【集合】新百合ヶ丘駅南口 9:00  
**除伐** 2024年 2月10日(土) ※徒歩で移動  
 予備日:2/11日 ※自家用車駐車場はありません

**南区大野台** 相模原市 木もれびの森  
**100人(先着順)** 受付 12/1 ~ 【集合】本厚木駅東口 8:30  
**除伐** 2024年 2月17日(土) /現地 木もれびの森(イヌシデ広場) 9:30 ※専用バスで移動  
 予備日:2/18日 ※自家用車駐車場はありません

財団X(旧ツイッター)でも開催状況をお知らせしています。

## 皆さまからの感想

128号「神奈川で見られるコウモリ」  
 なんとなくこわいイメージがありましたが印象が大きく変わりました。夕方の散歩の楽しみが一つ増えました。  
 (座間市 K様)

128号「虫とりの日常」  
 桜が名所の史跡公園を訪れた際、ピロウドリツリアブとイタドリハムシに遭遇しました。ミドリとつながった瞬間でした。  
 (横浜市鶴見区 K様)

130号「竹のこれから、竹工芸について学ぶ(前編)」  
 藤塚さんの優れた技術とその作品に感動しました。作品は一見素朴に見えるものの、高い芸術性があることがわかりました。  
 (大和市 Y様)



## 感想を送ってプレゼント

機関誌「ミドリ」やイベントなどの感想を募集中

**A 「続 かわいい とり撮りさんぽ」**  
 著/渡部尚久 2名様  
 機関誌ミドリの編集を務める著者が県内外で出会った野鳥たちを紹介する。

**B スギの寄木コースター (2枚セット)**  
 1名様  
 スギ材だけの珍しい箱根寄木細工



お便りをいただいた方の中から抽選でプレゼントします。

応募方法：①「131号プレゼント希望」とA or B / ②〒と住所 / ③連絡先(電話やメール) / ④氏名 / ⑤あれば会員番号 / ⑥機関誌「ミドリ」アンケート、イベントや財団活動への感想やご意見など①～⑥を明記し、メールやハガキにて2024年2月29日(木)までにご応募ください。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

- 機関誌ミドリ131号アンケート ●
- Q 1.興味関心を持った誌面を教えてください。
- Q 2. 1を選んだ理由。
- Q 3. ご自慢の身近な公園や緑地での活動や散歩コースなどの情報があれば教えてください。(任意)
- Q 4. そのほか、感想や取り上げてほしい話題など。

# 小網代の森で なにを見よう



財団事務局

8月半ば、好評連載中の「虫とりの日常」の横山寛多さんとその仲間たちと真夏の小網代の森に向いました。

朝早く車で出て海岸線を走ります。話題はもちろん虫。虫屋にとってベストシーズンは5、6月の梅雨前だそうですが、今日は朝から、猛暑で虫も鳥も出てくれないだろうと話をしています。今回は夏に満開になるハマカンゾウの花畑と干潟の生きものが目的なので、少しでも虫がいてくれればうれしいのですが。

小網代インフォメーションスペース近くの駐車場に車を停めて、水を多めに持って、引橋入口から谷を下り、木道の一本道を歩いていきます。

まだ、日差しは強くありませんが、さっそく汗ばんできました。それでも、森の散策路に入ると涼しい朝の風が通ります。近くのクサギの低木の白い花にモンキアゲハが吸蜜していました。アスカイノデの群落を抜けて、ハンノキ林を越えたあたりから虫探し。

ゆっくりと時間を気にせず各自が自由行動。虫を見つけたら、近くのもの同士で少し会話を交わし、また虫時間に戻ります。

オギヤヨシの草原を通り、「えのきテラス」周辺に咲き誇るハマカンゾウが見えてきました。太陽にも負けないオレンジ色が輝いています。

そして、浜辺ではコバルトブルーのチゴガニが求愛ダンスをし、コメツキガニが無数の小さな砂団子を作っています。既に日は登り、炎天下の中でしたがコミカルなダンスに見入ってしまいます。

暑いけど思い出深い一日となりました。

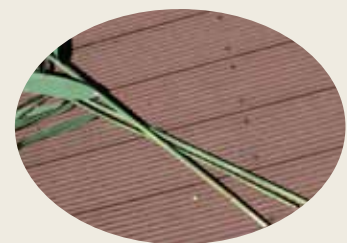
そんな思い出を横山さんに手ぬぐい(次頁)にしてみました。白地に藍色の柄が暑さをやわらげてくれます。山奥の自然もいけれど、身近な自然もけっこう楽しめます。手ぬぐいを持って汗をぬぐいつつ、夏の小網代もいいものです。



虫探し



クサギにとまるモンキアゲハ



小網代のヨシ

そして、絵を描いた筆はなんと小網代の葎(ヨシ)を使ったヨシペンです。味のある柔らかな筆跡が特徴的です。いつかまたその使用方法を紹介します。

## 編集 後記

カゴ作りのワークショップに出て、初めて竹ヒゴを編みました。編み込みは互い違いに入れ込むだけなのですが、これが難しい。竹編はシンプルにヒゴのみを扱うため、雑な性格

が露骨に出してしまいました。一方、機関誌は様々な情報を集め、編集していきます。これからミドリを編みつつ竹ヒゴも練習して、編むという技術を向上させたいです。(豊崎)

## 所得税・住民税の優遇措置について

(公財) かながわトラストみどり財団への会費や寄附は確定申告をすることによって、所得税、住民税の還付を受けることができます。ただし、県民税や市町村民税の控除は各自治体によって異なります。なお、控除額の計算は①②いずれかを選択することができます。

### ①税額控除(所得税)

#### ① 所得税の減少分

(年間の公益法人等への寄附金総額 - 2,000円) × 40%

#### ② 住民税の減少分

県民税 (年間の公益法人等への寄附金総額 - 2,000円) × 2%

#### (②の例)：横浜市税

(年間の公益法人等への寄附金総額 - 2,000円) × 8%

### ②所得控除

(年間の公益法人等への寄附金総額 - 2,000円)の金額を、その年分の所得から控除するもの。

### 相続税の非課税

相続された方が相続財産を、相続税の申告期限(亡くなってから10か月)までに寄附された場合は、その寄附額は相続税が非課税となります。

## 財団事業に

## ご支援をお願いします。

財団は県内においてかながわのナショナル・トラスト運動及び県土緑化運動を行い、自然環境及び歴史的環境の保全と緑化の推進を図っております。みどり豊かな神奈川を次の世代に引き継いでいくために、財団事業へのご寄附をお願いします。

## 夏のいきもの手ぬぐい

同封振込用紙で1,200円以上のご寄附で、「夏のいきもの手ぬぐい」を1枚進呈!

今号キャンペーン企画として、同封振込用紙から1,200円(送料込)以上のご寄附で、財団オリジナル手ぬぐい「夏のいきもの手ぬぐい」を1枚プレゼントいたします。

絵柄は機関誌ミドリで連載「虫とりの日常」の横山寛多さんが手がけられました。

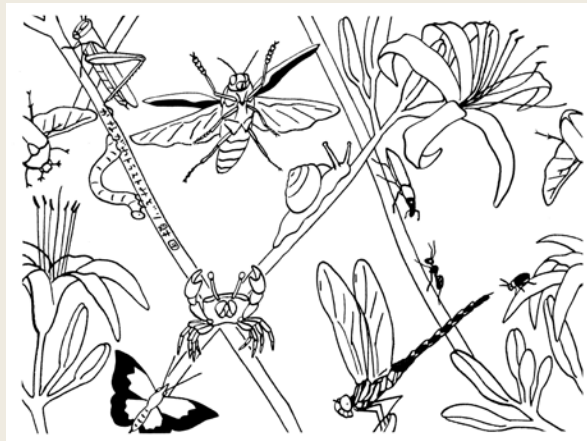
【締切: 2024年2月29日(木)】



ハマカンゾウ



チゴガニ



手ぬぐい圖案一部



ヤマトタマムシ



エサキモンキツノカメシ



シオカロンボ

付属の振込用紙からゆうちょ銀行・郵便局の窓口やATMで手続きできます。

### 同封の振込用紙の取扱いについて

【注意】現金でのお振込みの場合は手数料がかかります。

- ①本用紙は「キャンペーン用振込用紙」です。会員会費や緑のグッズ募金の振込には使用しないでください。
- ②振込の内訳に記載がない場合は、財団事業への寄附とさせていただきます。
- ③領収書等礼状の不要、ミドリ等の掲載不要(匿名希望)の方は通信欄にをお願いします。

- (公財) かながわトラストみどり財団への寄附金は、所得税・法人税の控除が受けられます

# 「相続税の申告」は 当事務所にお任せください。

**初回相談料 無料!!**



相続税申告報酬

**44万円~**  
(税込)



みなとみらい線 馬車道駅から7番出口より徒歩1分

みなとみらい線 馬車道駅

ファミリーマート

ローソン

三菱UFJ銀行

みずほ銀行

三井住友銀行

税理士法人タカノ

## 税理士法人タカノ

〒231-0005 横浜市中区本町4-41-501  
MAIL. info@it-kaikai.net  
WEB. http://www.it-kaikai.net/



QRコード

ご相談・ご用命はお気軽にお問い合わせください

**045-212-0375**

FAX. 045-212-0376

(受付時間 平日9:30~17:30)

広告

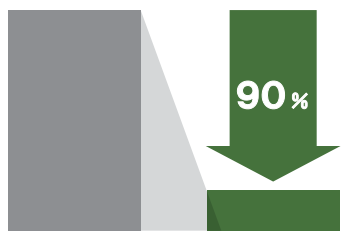


## 紙の使用を 減らしませんか？

紙マニフェスト → シゲンクラウド

🕒 紙の使用・作業時間

約 **90%** 削減



※自社調べ

産業廃棄物管理システム (排出事業者専用)

シゲンクラウド

検索

MAIL : info@shigencloud.co.jp TEL : 045-222-0888 (専用)

URL : https://shigencloud.jp

広告



不動産総合コンサルタント

## 株式会社 杉浦商事

不動産の総合会社

神奈川県知事免許 (14)7642号

**本店**

📞 045 (441) 8522

〒221-0045 横浜市神奈川区神奈川12-19-1

**東神奈川店**

📞 045 (324) 2172

〒221-0822 横浜市神奈川区西神奈川1-5-2-106

**東白楽店**

📞 045 (488) 4848

〒221-0822 横浜市神奈川区西神奈川12-2-1-1A

**鶴見店**

📞 045 (581) 3939

〒230-0062 横浜市鶴見区豊岡町3-28

<https://www.sugiura-syoji.co.jp>

杉浦商事

検索



再生可能エネルギー100%で、印刷工場が所有する施設や車両、購入した電力などエネルギーの製造時に排出されるCO2全量をカーボンオフセット(相殺)した「CO2ゼロ印刷」で印刷しています。また大気汚染の原因物質であるVOC(揮発性有機化合物)を削減したノンVOCインキを使用しています。

